



やまゆり



学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**

HP アドレス www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、マチコミメール(朝 8:00 まで)か連絡帳、それ以降は電話でお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は 18時までをお願いします



あせらずじっくり

副校長 田宮 真樹

上矢部小学校に着任して、今日でちょうど2か月が経ちました。皆様に支えられながら、上矢部小の子どもたちのために日々取り組んでいるところです。先日は、阿久和川美化活動や PTA 活動に参加する中で、地域や保護者の皆様の熱い思いを感じました。

学校では、5月6日(金)に今年度初めての避難訓練がありました。前任校は、防災教育に力を入れている学校で、避難訓練では子どもたちの意識が高く、整然と避難することができました。そんな学校にいたので、上矢部小の子どもたちの避難訓練は上手にできるかな?というのが、訓練前の思いでした。

今回の訓練は地震の想定です。およそ1分間の揺れの後、担任の指示のもと、校庭に避難します。私は、校庭の避難本部に向かい、避難して来るのを待ち受けます。その時の私は、今年度初めての訓練なので、教職員が指示を出しながら子どもたちが避難する姿を想像していました。しばらくして校庭に続々と集まってきましたが、子どもたちだけでなく、教職員の声もほとんど聞こえません。つまりは、教職員の最小限の声かけだけで、子どもたちが避難することができたのです。避難を終えてからの話を聞く態度もよく、本当に感心しました。当日の事前指導だけでは、こんなに上手にできないでしょう。どこに秘密が隠されているか、これまでの教育活動を振り返ってみました。

本校の朝会では、担任や司会の教職員はもちろん、校長自ら話を聞く姿勢を細やかに指導し、よかったところを認めています。集団としてどのような行動をとるべきなのかを、教職員全員で根気強く指導する象徴的な場面です。他にも、本校は昨年度より国語科の研究に取り組んでおり、考えを伝え合う中で、話を聞く力を伸ばした成果もあると思います。さらには、学年やクラスでの小さな指導の積み重ねもあるはずです。つまり、様々な角度から継続的に指導した結果が、避難訓練の姿につながったのだと思います。

我々大人は、すぐに結果を求めようとしがちです。しかし、子どもたちにそれを求めても、うまくいかないことの方が多いです。学校教育では、すぐ指導してできること、1か月、1年、数年とかけてできるようになることがあります。特に数年かけてできるようになることは、私たち教職員(大人)があせらずじっくりと指導して行くことが大切です。

避難訓練でのよかった点を紹介しましたが、これから時間をかけて学ぶ点もあります。地域や保護者の皆様と連携しながら、上矢部小の子どもたちが成長できるよう、私もあせらずじっくりサポートしていきたいと思えます。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。